

2021年（令和3年）4月9日

## 入 学 式 辞

本日ここに、聖光学院高等学校第60回入学式を行えますことを心から嬉しく思います。例年よりずっと早く桜が満開になり、後を追うように桃の美しいピンクの花が咲き、鮮やかな黄色の菜の花も加わって、福島は一年で最も美しい季節となりました。

新入生の皆さん・保護者の皆様、入学まことにおめでとうございます！ようこそ聖光学院へ！教職員はじめ関係者一同、心から歓迎致します。折からの感染拡大のため例年よりも時間を短くした簡素な入学式になることを申し訳なく思います。寮に入った生徒諸君、食事は美味しいですか？良く寝られますか？ホームシックにかかっていませんか？みんなで力を合わせ、頑張って1年生のスタートを切りましょう！

さて、入学式にあたり3つのことを申し上げ、校長式辞にしたいと思います。

第一は、高校3年間明確な目標を持ち、その実現に向けて日々努力して欲しいということです。しっかり勉強に取り組んで大学に進

学すること、たくさん資格を取って優良企業に就職すること、部活で全国優勝をすることなど、目標を掲げ、日々努力してください。

白血病に罹り、2年もの長い間競技生活から離れていた池江璃花子さんが、先のオリンピック最終選考会で見事100mバタフライで優勝し、東京オリンピック出場を決めました。奇跡です！池江さんだけでなく、治療に当たっていたお医者さんも、指導に当たったコーチも信じられないと、皆、感動の涙を流していました。この奇跡は、池江さんが難病にも負けず、ひたすら現役復帰という目標を見失わず、東京オリンピック出場を夢見て努力してきたことから起こったことです。何と素晴らしく美しいことでしょうか！今日の聖書の言葉のように「世にあって星のように輝く」存在であります。私たちも一人一人、目標を持ち、人一倍努力し、目標を実現させる者でありたいと思います。

第二は、本校の「建学の精神」であるキリスト教の愛についてであります。聖光学院が創立以来一貫して大切にしてきたものは「愛」です。本校の校門には、日本語で「愛」、ギリシャ語で「アガペー」の字が刻まれています。教師も生徒も愛をもった人間であって欲しい、という願いがそこに込められています。

例年伊達市では、冬2～3度雪が積もります。そんな時、多くの運動部の生徒が早朝や放課後、雪掻き奉仕をします。野球部の寮生は朝早く起きて、伊達小学校に向う道を除雪します。「お陰で子供たちが安全に登校できました。本当に有難いことです！」といつも伊達小学校の校長先生がお礼に来てくれます

また、本校生の元気のよい素晴らしい挨拶も愛の表れです。2年前、本校から少し北にある「醸芳中学校」の校長先生を退職された大木修先生が、以前、醸芳中学校の機関誌『碧天』にこのような文章を載せてくださいました。「平成16年の正月のことです。併願受験する聖光学院高校のテニスコートを見たいという息子と共に、車で聖光学院に行きました。雪が激しく降っていました。私と息子は車を降りテニスコートに向いました。すると突然「練習やめ！こんにちは！」という大きな声が響き渡りました。野球場からでした。こんな雪の日も練習しているんだと驚きました。それ以上に挨拶に驚きました。なぜなら、野球部員の姿は降りしきる雪のためボンヤリとしか見えなかったからです。彼らはエンジンの音が止み、ドアが閉まる音を聞いて、その方向に向かってしっかりと挨拶したのです。凡事徹底、挨拶という当たり前のことを人には真似ができない

程一生懸命にやる。平凡を非凡に努める姿がありました。その姿勢が全国的にその名を馳せる今に繋がっているのだと思いました」と。君たちも先輩に負けない元気な挨拶をする生徒になってください。

第三は、我々教職員についてです。希望をもって聖光学院に入学された皆さんを指導する本校の教職員は、自分を磨きつつ、全力で皆さんを指導し、サポートしていくことを約束します。宮沢賢治の作と言われる「私が先生になったとき」という詩にこうあります。

私が先生になったとき

自分が真実から目をそむけて

子どもたちに 本当のことが語れるのか

私が先生になったとき

自分が未来から目をそむけて

子どもたちに 明日のことが語れるのか

私が先生になったとき

自分が理想をもたないで

子どもたちに いったいどんな夢が語れるのか

私が先生になったとき

自分に誇りを持たないで

子どもたちに 胸を張れと言えるのか

この詩は、「教師たる者は、自分の生活のためにただ漫然と勤めるサラリーマン教師であってはならず、自分が教える教科においても、人格においても、自分の教育に対して責任を感じ、教育への情熱を持ち、自ら生活の基本ルール・習慣を身に着ける闘いを辞さない教師でなければ、教育はできない」と言い切っています。本校の教師たちは、ここに書かれている教師像を目指して、ひたむきに努力しつつ、君たちの教育・指導に力いっぱい当たることを誓います。

最後に、皆さんの今日からの聖光学院での生活の上に、神様の豊かな導きと祝福があり、一人一人が「世にあって星のように輝く」人に成長することを心から祈り願いつつ、校長式辞と致します。

2021年(令和3年)4月9日 聖光学院高等学校校長 新井 秀